

表題 “Student-centered learning” を目指した図書館の〈場〉と学生協働

東京工業大学の長期目標「世界最高の理工系総合大学」のアクションプランの一つは“Student-centered learning”である。附属図書館においても「学生が自ら学び考える教育」を目指した〈場〉と学生協働を実施している。

学部生が多い大岡山本館は、学習棟2階に可動式の机・椅子を配置し、学生の学修スペースを設置した。2020年11月竣工の学生のための国際交流拠点「Hisao & Hiroko Taki Plaza」とも地下の通路で接続し、学生が用途に合わせて自由に行き来できる設計である。

大学院生が多いすずかけ台分館は「研究に集中できる場」をコンセプトに、従来型のラーニング・コモンズを越えた個人スペースを重視した改修を2020年度に実施した。(リニューアルオープンは2021年7月予定)

場の提供に加え学生の主体性を活かした数々の活動を「図書館サポーター」の学生と共に実施している。

- ・「図書館謎解きゲーム」の企画・実施
- ・「人生を変えた1冊」をテーマにした教員インタビュー記事の制作
- ・「図書館バーチャルツアー」コンテンツの制作

これらのコンテンツは『「ねっ、図書館」ネットで図書館体験』から広く一般に公開し、好評である。

参考URL:

- ・東京工業大学附属図書館 <https://www.libra.titech.ac.jp/>
- ・「ねっ、図書館」ネットで図書館体験 <https://www.libra.titech.ac.jp/supp-event>

